



こんにちは。所長の安成です。いよいよ第三期中期計画の新年度を迎えました。これを機会に、できるだけ定期的に、所長から所員の皆さんに、気ままなエッセイも含め、さまざまな内容での発信をさせていただきたいと思い、「安成通信」を始めることにしました。お仕事の合間のひと時、気分転換も兼ねて読んでいただければ幸いです。

さて、春たけなわ、今、地球研の周辺も含め、京都は至るところ桜が満開で、1年で一番いい季節です。市中のソメイヨシノも華やかできれいですが、周辺の山々には山桜も開花し、まさに俳句の季語でいう「山笑う」季節です。地球研の周辺で目立つもうひとつの木が、赤紫の小さな花を咲かせているミツバツツジです。ツツジ科ツツジ属ですが、5月頃に咲く普通のツツジとは異なり、まず花が咲き、その後、枝先に三枚の葉が出てきます。地球研内からこのミツバツツジのみごとな群落が鑑賞できるのは、副所長室です。この部屋、いつも開いています。通りかかったら、(会議などないことを確かめてから、) ソッと入って窓から眺めてください。さらに、お隣の京大上賀茂演習林(正式名はフィールド科学教育研究センター上賀茂試験地)に入ると、林内のあちらこちらで、山桜と共に、この花のみごとな群落を楽しめます。ちなみに、演習林には、地球研のフットサルコート横にあるゲートから自由に入れます。吉岡センター長(地球研 OB です)のご好意で、地球研の人は地球研 ID カードを持参していれば、許可なしで入れます。お昼休みやアフターファイブ、休日など、四季折々の演習林を楽しんでください。

地球研に来てすでに4年目の春を迎えますが、ミツバツツジの花見は、この季節の私のさやかな楽しみになっています。